

伊能ウオーク

碧海幡豆ウォーキング協会は2012年に「協会設立10周年」を迎えるに当たり、記念行事として『伊能ウオークが歩いた道を辿ろう in 愛知』を実施しました。

コースは、伊能ウオークが歩いた愛知県内（名古屋市内・豊橋市内は除く）で、例会の一環として実施します。

2017年も同コースを歩きます。

皆様も私達と一緒に歩いてください。お待ちしております。

伊能ウオークとは18年前に実施された日本最大のウォーキングイベントで、名称の由来は次の通りです。

伊能忠敬は200年前に、17年の年月をかけて日本全国を歩いて世界に冠たる近代日本地図を作成しました。この地図は極めて正確で、旧日本陸軍が大正時代まで使っていたそうです。

この偉業にあやかって歩くイベントが計画され、実行されたのが「伊能ウオーク」です。伊能ウオークは、1999年1月25日から2001年1月1日までの二年間、20世紀と21世紀の二つの世紀をまたいで日本を一周したウォーキングイベントでした。

伊能忠敬の足跡をたどりながら日本全国、47都道府県の約800市町村をリレーし、2年間で日本列島11,030キロを歩き、交流の輪を広めようというロマン溢れる壮大なイベントでした。

日本を一周するメンバーは「伊能ウオーク本部隊員」と呼ばれ、朝日新聞社が全国から公募した15人でした。碧海幡豆ウォーキング協会名誉会長西川阿羅漢さんも本部隊員として参加しました。

伊能ウオーク隊は日本を一周する本部隊のほかに、日本を5つに分けてステージ単位で歩くステージ隊。好きな地域を好きな時に好きな日数だけ歩くエリア隊。一日単位で歩くディリー隊。それにスタッフで構成されていました。このほか各県のウォーキング協会も随時参加し、多いときには5,000人参加したこともあります。

愛知県内は次のように歩きました。

- 2000.12.1 岐阜市から一宮市 16km
- 2001.12.2 一宮市から名古屋市 24km
- 2001.12.3 名古屋市内 16km
- 2001.12.5 名古屋市から豊明市 25km
- 2001.12.6 豊明市から岡崎市 25km
- 2001.12.7 岡崎市から蒲郡市 21km
- 2001.12.8 蒲郡市から豊橋市 20km
- 2001.12.10 豊橋市市内 16km

2017.02.12 記